

「プリンタブル・フレキシブル材料技術」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会の平成30年度第1回研究会を下記の要領にて開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

<全体概要>

近年、印刷技術を用いたデバイス作成やフレキシブルな材料に形成したデバイスが注目されています。現在、産総研で行われているプリンタブル材料技術、フレキシブル材料技術に関する最新の研究を紹介します。

記

- ◆日時：平成30年9月11日（火）14時00分～17時30分
- ◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室
(名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階)
- ◆定員：35名
- ◆参加：協会会員及び公的機関等に属する方（無料）
(※席に余裕がある場合は一般の方も受付いたします。)
下記申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

■ プログラム

14:00～15:15

「フレキシブルハイブリッドエレクトロニクスによるIoTと新たなビジネスモデル」
牛島 洋史（産総研 フレキシブルエレクトロニクス研究センター
副研究センター長）

(概要)

IoT社会の到来に向けて従来のエレクトロニクスとは一線を画する新たなデバイスを提案しようという流れがある。その中で、薄くて軽く、曲げることのできるデバイスを印刷によって作製しようという挑戦がプリンテッドエレクトロニクス(PE)である。われわれは10年近く、PEの材料、プロセス、装置、デバイス開発を推進してきたが、ここでは、可撓性と高性能を併せ持つデバイスによるIoTの実現を目指したPEとMEMSの融合について紹介する。

15:15～15:30 休憩

15:30～16:15

「有機材料を利用したプリンタブル熱電デバイス等の開発とその評価技術」
向田 雅一（産総研 ナノ材料研究部門 ナノ薄膜デバイスグループ 主任研究員）
(概要)

導電性高分子として知られるPEDOT/PSSを用いた、プリンタブルデバイス開発とその特性評価技術を紹介する。低温排熱をハーベスティングするための熱電材料としての製法や得られた材料の利用方法、またその特性を評価する新たな手法について詳細に説明する。さらに、この材料が導電性だけでなく有機材料の中でも比較的大きな吸湿性も持ち合わせていることを利用した、湿度調節デバイスについても説明する。

16:15～17:00

「塗布・印刷で作製するフレキシブル調光デバイスの可能性」
田嶋 一樹（産総研 ナノ材料研究部門 ナノ粒子機能設計グループ 主任研究員）
(概要)

近年、エレクトロクロミックと呼ばれる電圧印加に伴うイオン授受を利用して光学特性を変化させる材料に注目が寄せられている。国内でも様々な企業で製品化が進められているが、これまでの主要な技術ではスパッタ法など真空プロセスが中心であった。当グループではより簡便な方法として塗布・印刷型デバイスの開発を行っている。本講演では、現在の当該材料のトレンドを含めて、フレキシブル調光デバイスの可能性について議論する。

17:00～17:30 総合討論、名刺交換

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局（名古屋駅前イノベーションハブ内）

TEL: 052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL: 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所：〒450-0002

名古屋市中村区名駅4丁目4番38号

愛知県産業労働センター

（ウインクあいち）15階

※「名古屋駅」から徒歩約5分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成30年度第1回研究会
 「プリンタブル・フレキシブル材料技術」
 （平成30年9月11日）

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名（代表者）		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所（連絡先）	〒	TEL: ()	—
		E-mail:	

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行いません。